

## 令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和5年3月）会議録（案）

日 時：令和5年3月17日（木）午後6時00分～午後8時40分 （敬称略）  
出 席：大槇 加藤 内金崎 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 増田 広瀬  
欠 席：無し  
事務局：石川 田中 俣本

### 1 開会のあいさつ

大槇：昨日はWBCで盛り上がったのではと思う。ベスト4まで進出し素晴らしい。本日は来年度の方向性を決めたい。

### 2 令和4年度地域活性化講座について

#### （1）「認知症予防講座」について

日 時 3月4日（土）午前10時～11時30分  
講 師 北部西かみすな地域包括支援センター  
保健師/秋間 さや子さん、社会福祉士/倉嶋 真章さん  
西砂学習館地域運営協議会委員 認知症予防体操/岩元 喜代子さん  
音楽療法士/矢嶋 瑞貴さん

参加者 14名（男性5名、女性9名）、運営協議会委員4名

石川：会長作成の資料参照。

岩元：久しぶりにピアノを弾いた。音楽療法士の矢嶋さんとはコロナ前は一緒に活動をしていた。

大槇：デュアルタスクで手話を取り入れ、歌に合わせて踊り楽しく過ごせた。毎年参加して下さる方もいる。早期発見対応が大切と話していた。定期的にこの講座は実施することが必要と感じた。

#### （2）来年度に向けての具体的な講座内容について

##### ○ 西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～

西砂学習館中規模改修工事のため、8月の第1実習室・第1教室・2階トイレの利用が出来ない。（7月の利用は可）、視聴覚室・会議室・第2実習室の利用は可。

大槇：改修工事の進行状況を鑑みて具体的に何ができるのか、何ができないか確認し、方向性を決めたい。

石川：改修工事で8月からは第1実習室、第1教室、2階トイレが使えない。視聴覚室は使用可能。食事作りができないのは残念。夏休みの期間は西砂小と松中小共に7月24日から8月28日まで。7月25日火曜日は実施可能。7月26日水曜日、7月28日金曜日に実施し、「7月は学習館に行こう」とするのはどうか。委員の負担

もあるので7月25日と7月28日の2回実施の案もある。

大橋：食事提供を考えると、学習館が使えるのは7月中のみ。各小学校の夏休み期間が一緒なので、両方の学校の子どもが参加できる。7月中に学習館が利用可能なのは、7月25日、7月26日、7月28日の3日間。スタッフの負担を考えた時に3回の実施はどうなのか。昼食を考えずに、西砂会館や天王橋会館での実施を考えるか。学習館を利用せずに地域の子どものために何かできることを行うか。会館を十分に利用したことがないので把握できていない。集合を学習館にし、フィールドワークも考えられる。サマーイベントが実施できないことも考えた。例えば、松中小では放課後拡充型教室が夏休み期間中も開催される。学習館が子どもの居場所を工事期間中に無理に企画をしなくても、居場所は確保されていることを考えると、放課後拡充型教室に託すのもありかと思う。但し西砂小には放課後拡充型教室が無い。

能村：回数が少なくても途切れずに開催するのが良い。会館での実施は何ができるかわからない状況で計画を進めるのは怖い。

石川：工事期間は設計会社が作った机上の計画なので動く可能性はある。

大橋：サマーイベントは実施の方向で考える。

岩元：視聴覚室は利用できる。

石川：錦学習館で同じく改修工事をした時、工事の音がとてもうるさかったとのこと。

森：工事車両や機材等が入ってくるので安全面が気になる。

石川：バリケードをして工事現場には入れないようにする。7月から始まる。

大橋：子ども達の安全を第一に考えるので、安全面の確保が難しい場合は急遽でも中止にする。8月中で場所が開き、会場が使えるような情報が入れば臨時に会議を開き活動を入れることも可能。今は最大3回の実施で考えていく。

#### ○ 西砂ウインターイベント～冬休みも学習館に行こう！～

12月末には変電設備の入れ替えがあり、全館停電の日がある。

石川：12月末は休みにかけて何日間か停電になる。

大橋：2回目のウインターイベントは実施する方向で良いか。実施は火曜日以外になるか、年明けの実施になるかもしれない。

#### ○ にしすな親子塾（年度中に2回開催）

【1回目】開催時期：6月頃？（だとするとここで決めないといけない）

講座の内容： 大人向けの内容か、子育てに関わる内容か？

【2回目】まずは開催時期： 月頃

小笠原：6月18日か6月25日なら児童館で実施可能

森：お父さんと子どもと一緒に体験できるDIYで講師に田中さんはどうか。他、アウトドアや飯盒炊爨は目先が変わって面白いと思った。

田中：DIY で、実際に使いやすい箱を作ることは可能。小学校では巣箱を作った。鋸や釘、トンカチを一通り使う。

小笠原：児童館庭の火の利用について、ご近隣に気を遣う。火を使ったことは無いので、ハードルは高い。DIY なら遊戯室で実施を考えている。

岩元：工業会と親子でもの作りができると良い。工業会に聞いてみようかと思う。

大橋：児童館での実施が難しい場合は松中小学校へお願いに行くことも考える。

岩元：DIY の材料はどうなるのか。

田中：1 枚のベニヤを買い、こちらでカットすれば材料費を抑えられる。

長谷川：子どもが 4 年生の時に飯盒炊爨をした。学校なら情報があるかもしれない。

広瀬：別案。小笠原さんにお願ひし親子でミュージカルを組み立てるのはどうか。

小笠原：今朝、国立音楽大学からお話しがあつた。コロナで子どもの前での音楽の披露ができなくなり、学生の活躍の場が失われているとのことだった。児童館で披露するチャンスがあればと伺ったばかりだった。何ができるか分からないが、この地運協の話もした。地域との連携が大きな課題となっているからそのようなチャンスが欲しいと言われたばかりだった。実現不可能ではないと思う。

大橋：今は 6 月実施で話しているが、それを具体的に進められそうならできるのか考えていきたい。

石川：6 月は DIY にするか。

田中：仮に 10 組の親子が来ると、鋸は 10 本必要だが用意が難しい。例えば、松中小の図工室を借りるとその辺がクリアできるかもしれない。作業の内容にもよる。

小笠原：児童館実施では作業内容を考えると 15 名は難しい。ブルーシートで床を養生する必要もある。

岩元：会場を小学校の図工室にするのはどうか。

田中：図工室は養生する必要もないので実施するのに完璧に近い会場。

岩元：参加の子どもが 1 人とは限らない。学年の制限も必要。

大橋：募集は松中小と西砂小の保護者にチラシで PR をする。今回は DIY の内容で進める。場所は児童館又は学校図工室。定員は 10 組。ミュージカルの案は小笠原委員に探って頂き進めたい。実施日は児童館では 6 月 18 日か 6 月 25 日。

石川：2 回目の実施日はどうするか。

小笠原：秋頃はどうか。

大橋：負担にならないように計画ができるようであれば。飯盒炊爨は長谷川委員に確認をお願いしたい。

#### ○ 地元を学ぼう

⇒ 講師：豊泉喜一氏の続編で OK ?

お願いしたい内容：

大まかな日程：

石川：豊泉喜一先生に講師をお願いしている。歴史だけではなく農家の訪問や収穫もある。講師は高齢なので今のうちにお聞きしたい。

加藤：豊泉さんを講師に講演会を秋に実施予定。近々打ち合わせを行う。立川の古い写真を見て立川を学ぶ内容を検討中。推進委員会と地運協がうまく連携すると良い。

大橋：講師が元気なうちに講師の知識を聞かせて頂こうと実施している。写真を見ながら立川の歴史を振り返る推進委員主催のもの、地域学習館でこのエリアに特化した歴史を振り返る講座。もう1つは、地域散策をして親子で参加できる講座も良い。2本立ての開催も可能。前回は、新しく来た人と古くからの人が繋がらないのが地域課題と出ていた。大事なことは知ってもらうことだと思う。知らないからこそ憶測で偏見が始まる。地域の素晴らしい所を少しでも知ってもらえたら良い。

加藤：「地元を学ぼう」は10年位前から実施している。新しく来た人に知ってもらうのが狙い。

広瀬：新しい住民にこの地域を知ってもらうのが良い。

大橋：講座は2本立てで1つは座学、1つはフィールドワークで進める。

広瀬：散策はWestWave 立川の新しい感覚の話も良い。

加藤：一緒に打ち合わせをしても良いかもしれない。

#### ○ 西砂川での災害を考える

⇒ 来年度も西砂町・一番町の自治会関係者を対象とするか？

大まかな内容：

大まかな日程：

石川：2年続けて自治会関係者に集まって頂いた。西砂地域の自治会は殆どが1年ごとに役員が変わる。今年は関東大震災から100年経つ。節目で一般の方を対象にNPO法人立川災害ボランティアネットでも考えている。コラボして何かできないか。

大橋：火おこし体験、鍋でご飯を炊く体験、避難所生活体験など体験型のものはどうか。

岩元：マイ・タイムラインに関心がある。自分が何か災害にあったときに家族とどう連絡をとるか。他人事でなく私事になる。皆が注目していることを行うのも良い。

石川：マイ・タイムラインは障害福祉課にいる時にやったことがある。目黒巻きも面白いプログラムだった。

内金崎：結局は自分で準備しなければならない世の中になっている。その意識付けも大事。100年という節目で興味関心がある方もいる。良い機会になる。

広瀬：今までの自治会の関係者交流も思ったようにできてない。グループにして、お互いに知り合う機会があっても良い。2回実施しても良い。

大橋：何を基盤にして交流をするか。

岩元：連合会支部では防災担当がそれぞれいる。交流は自治連支部で行うと良い。

広瀬：自治会防災対象に2回講座を行った。2回目、少しは幅が広がっていると感じた。

大橋：前に避難所運営ゲーム（HUG）を行った。HUGをメインに作業をしながら、避難所運営を考えたら意識アップするかもしれないし交流ができる。避難所は本当に運営できるのか心配。

石川：2本立てで、1つは関東大震災100年一般対象、もう1つは防災課長を講師に地域防災計画について無報酬で依頼するのはどうか。

加藤：今の防災課長は係長から継続されている。各自治会の防災担当者は1年で変わり認識がない。意識を持ってもらうことも狙い。

岩元：担当者が一生懸命考えている自治会もある。その活動の話も同じ自治会の役員として、刺激になると思う。各自治会で実践報告もあると意見交換ができ交流ができる。団地系、戸建て、自治会も苦勞が色々違う。

大橋：一般に防災意識を高める講座と、自治会対象に防災課長に地域の防災について考えてもらう2本立ての方向。

#### ○ 認知症予防講座

大まかな内容は例年と同様で良いか？

大まかな日程：

内金崎：継続していけたらと思う。

大橋：全体を見てどこかで実施したい。

広瀬：どんな方が参加されたのか。

大橋：男性が多かった。若い方も1名いた。使われている教材が面白かった。

広瀬：できるだけたくさんの人に来てほしい。集める努力も必要。

#### ○ 西砂産業まつり

今年度の検討内容：開催の目的や構想を考える。

立川工業会へのアプローチを考える。

石川：岩元さんに動いて頂き工業会とお会いしたところで止まっている。

大橋：中学生が工場見学をしていないか。

岩元：中学生の職場体験は、今回はお話だけはしたが実際には子どもは行っていない。商工会議所の工業部会企画で立川の親子対象に見学会をしていた。

大橋：受け入れた所から依頼していけば良いのでは。

岩元：上砂川小近辺の工場で受けてくれた。

大橋：受け入れてくれた実績の情報が入れれば、具体的にどう受け入れて頂けるのか、何か広げていけることができるか。

岩元：窓口の会社も5中を受け入れたと話をしていた。もう1つ工業会の会長をしている会社も商工会議所経由で受け入れたと話していた。アプローチをどうするかが課

題。親子DIYで協力して頂けないか。産業まつりを来年度企画し再来年度実施となった時は、色々な願いはできると思う。

大橋：親子で体験してお話を聞くイメージをしている。各学校に地域の学びを受け入れてくれる場所があるとお伝えできる。

増田：4年前工業会に技術的な採用をしてもらえないか尋ねたことがある。その時は全く話にならなかった。どのような企業があり、何を学ぶかを考えてから行かないと難しい。どこを対象にするかを考えたほうが良い。

大橋：工業会全体にはお願いしてきた。

広瀬：昭島の大流通センターができることで、この辺も影響が出る。関係会社もこの地域にできるのではと思う。

森：産業まつりを最終的な形にするために、産業探訪、農業コース、商業コースのツアーを組み、地域と会社が顔見知りになることで、最終的に学習館でお祭りみたいになりたいとした時に、皆が興味持ってくれるたら良い。

大橋：工業会には考えをお話した。職場体験をしているところがあれば、そこを切り口に進められる。情報を掴み糸口がでてくれば良い。

#### ○ その他 新規に実施したい講座

大まかな内容：

大まかな日程：

石川：今回2本立ての講座が多い。

大橋：予算が限られている。

石川：砂川学習館の予算を貰っている。柴崎学習館で行政利用の部屋予約について広聴カードでご意見を頂いた。

広瀬：この地域を良くしようと、動きが出てきた。そのような講座も行いたい。新しい講座を諦めないで考えていきたい。

石川：西砂学習館は他館に比べ子ども対象講座は充実。西砂学習館の新しい係長が多文化共生プロジェクトのリーダーになる。地運協が絡む事業ではないが、西砂でやる事が出てくるのではと思う。

加藤：TIFA 西砂教室が西砂学習館で活動している。連携すると良い。

#### ○ パパ・ママの西砂デビュー

今まで通り、「にしすな親子塾」で兼ねることで良いか？

大橋：地域散策もこの意味合いが含まれている。

#### ○ その他の活動について

・フリースペース・にしすな

石川：時間があるときに改めて話し合いたい。

- ・ 子どもの居場所づくり

石川：内容を練り進めたい。

- ・ 西砂地区文化会の事業の体験

石川：昨年度はコロナで参加できなかった。

大橋：地域を知ることになるので参加していきたい。

- ・ 西砂学習館まつりへの参加（展示・実行委員会の出席）

石川：展示品は会長に全て作って頂いている。

大橋：今までのような展示物で良いのか4月に確認する。

### 3 協議、報告及び連絡事項

#### (1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

#### (2) 「第3回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会」について

- ・ 日 時 令和5年3月10日（金）午後6時00分～8時00分

- ・ コメンテーターとして 小松統括コーディネーター

- ・ 参加者 全員（コーディネーター及び運営協議会委員）

西砂小学校 PTA 会長 小林 様

立川第七中学校 PTA 会長 鈴木 様

- ・ 今後の開催について

石川：地域を支える仕組みづくりが整ってくる。今回松中小 PTA 会長が不参加。来られる方は来て下さいというスタンスで行った。次回はお声がけするか。

岩元：話が錯綜する感じはする。

広瀬：西砂小 PTA 会長の小林さんは市民課の内容を紹介する話が発端で参加。

岩元：七中 PTA 会長鈴木さんが始まった頃の地域学校コーディネーターの話をして下さり当時のことが分かり良かった。

大橋：PTA 会長がオブザーバーとして参加するのは構わないか。

長谷川：今回、松中小だけ不参加で知らないのはどうなのかと思った。

大橋：参加するなら3校揃った形にする。

石川：急遽小林さんの参加が決まり、お声がけするタイミングがなかった。

岩元：PTA 会長に聞いて頂くのは良いが来て頂く意味が分からない。

長谷川：地域学校コーディネーターと PTA で意思疎通できれば良いが、同じ学校で違う課題が出ると難しい。

森：地域学校コーディネーターを通して学校へ伝えるのが良い。

大槌：懸念していることがある。小松先生からのお話は、学校側の人間が地域人材を学校へ取り入れ授業改善をした報告だった。小松先生が小平市で研究推進校の校長をしていた時のお話し。小松先生の話は学校長が述べたものだったから先生方も納得した。安易に学校へ言葉を掛けてはだめだと思う。結局は待つだけになるが、お声掛けされた時にいつでも動ける体制にしたい。

(3) 西砂児童館地域交流会に参加して（参加者からの報告）

小笠原：3年ぶりの開催。地域課題をあぶりだすことも役割と思う。色々な角度で子どもを考えたい布石にしたかった。沢山のご意見ありがとうございました。大柱は子どもの夜間の居場所。

(4) 「西一元氣通信 No. 9」について

石川：見て頂き何があればご連絡下さい。

(5) 西砂学習館運営協議会委員の任命について

西砂川地区文化会からの推薦者として、杉之原 峰子 氏が4月から任命されます。

よって、西砂学習館運営協議会委員は定員上限の12名となります。

石川：文化会会長から繋がりを持ちたいので委員を出したいと話があった。

(6) フリースペースについて（協議）

石川：協議は今後の課題にしたい。

(7) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：「ウクライナ平和の道」実施。日野市や国立市でも実施されている。たまがわ・みらいパーク企画運営委員をして2年少し経つ。西砂と地域の違いがよく分かる。半年前から西砂学習館の紹介をし、西一元氣通信を配布した。

広瀬：地元でサークル活動をしている。高齢者の応募が増えた。年を取らなければ分からないこともある。高齢者の活躍の場を作らなければならないと思う。ボイストレーニングは大人気。

内金崎：西砂町地域懇談会を開催し今後の方向性を話した。交通マナー、交通量、人との交流がテーマ。交通マナーが守れてない人が多いので駐輪場スタッフに安全運転を促す声かけをしてもらってはどうかと意見がでた。人との交流は、新住民と旧住民の交流の場が無いので、農家を絡めてイベントを計画するのはどうかと意見が出

た。まちなねっとでも周知していく。

小笠原：3月19日「にしすなこどもまつり～西砂子ども万博～」開催。ステージは、お囃子、武蔵村山高校の書道パフォーマンスを行う。青少健のご協力もある。

長谷川：2月21日麦踏みを行った。伝承会からは愛情を込めて踏むようにアドバイスがあった。3年ぶりに来年度の青少健委員選考会が始まる。人手不足の状況。3月26日、27日は春休みパトロールを行う。総会は5月20日西砂会館で開催予定。

岩元：立川市生涯学習推進審議会は4月26日来年度の会議が始まる。第6次の反省を踏まえ立川市第7次生涯学習推進計画をこれから作る。現在、立川市立第七中学校、第六中学校に関わっている。昨日卒業式に参加。コロナに始まりコロナに終わり、様々なことを経験し子ども達は成長した。不登校の子どもが無事に高校に合格した。一概に不登校と言ってもその子なりに考えながら学んだ3年間だったと感じた。少しでも子ども達の為に頑張っていきたいと思った。

小林：西砂書道愛好会に40年程通っている。学習館まつりの展示に向け練習に励んでいる。

能村：講座情報誌「きらり・たちかわ」春号発行。特集記事を担当。この地域の畜産業を取材しお話を伺った。記事の内容はファーマーズセンターみののれ立川や立川市役所に確認して頂きこの形になった。石川係長に協力を頂き学習館探訪「西砂学習館」を作成。今後の学習館探訪は幸学習館と錦学習館を予定。

森：3月7日、8日は団体企画型講座「パワーポイントでチラシを作ろう」を実施。申し込み開始すぐに定員になった。面白い内容で楽しんで頂けた。面白い講座は毎年実施しても参加者が変わるので良い。新規に実施したい講座について、シニア世代の人材開拓に繋がる講座を開催できたら良い。こちらが地域人材を知る機会になる。

増田：財政を考える会では今年度は3月19日で終わる。議会、職員、市民が同じ目線で進めていく。

俣本：西砂寿教室は3月16日に今年度の活動が無事に終了。来年度に向けて新しい会員の申込があり楽しみ。

田中：玄関にある学習館の看板を作り直している。「きらり・立川」で文字の中にイラストが入っているが、このようなのも面白い。

石川：3月31日で定年退職となる。この職場に残れるのか異動するのかは3月23日の夕方に分かる。西砂学習館に来て為になる講座がたくさんあった。皆様ありがとうございました。

大橋：教職員の異動は3月22日に新聞で発表がある。

#### 4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、4月20日（木曜日）

<配布資料>

- ・〈資料 1〉令和 4 年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料 2〉西砂学習館運営協議会 令和 4 年度地域活性化講座（案）
- ・西一元氣通信 No.9（案）